

4年ぶりに対面で、夏の講演会・講習会を開催

コロナウイルスが第5類扱いになり、ようやく対面での夏の講演会・講習会を開催することができました。講師の先生との距離の近さ、他校の先生との交流など、リアルでの開催だからこそその充実した講演会・講習会となったように思います。多数ご参加してくださりありがとうございました。参加された皆さま方からお寄せいただいたアンケートの一部を紹介し、この夏の学びを振り返りたいと思います。

令和5年 8月17日(木) 会場:大阪府社会福祉会館

○講演「聴覚障がい教育において伝えたいこと～聞こえない子どもが自分らしく生きるために～」

福島 朗博 先生(社会福祉法人十神 やすぎこども園 園長)

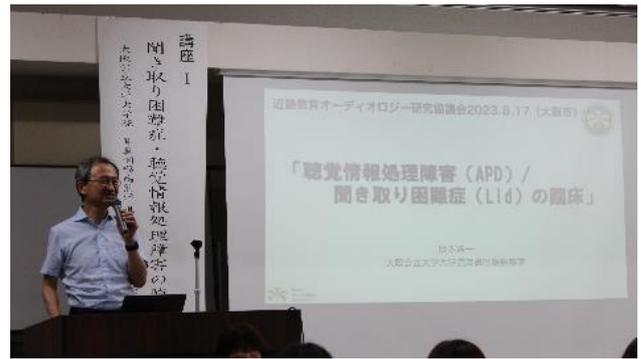
- ・ 福島先生のアイデンティティー、そして、これまでの教職経験の中で培われ、信念をもって、難聴児とかかわってこられた思いを拝聴できてよかったです。“自分らしく”とは、自己理解すること、その意味を改めて考えるきっかけになりました。
- ・ それぞれの時期につけておくべき力から保護者支援まで先生ご自身の経験から丁寧に話していただき、大変わかりやすく心にしみました。
- ・ ご自身の実践等の話もふくめながら、きこえない子にとって“大切なことは何か”を考えることができる、原点に立てるような内容の講演で、自身の今までの実践の振り返りやこれからの実践に生かしていきたいと思いました。
- ・ 先生の熱量がとても感じられた。グランドデザインが分かりやすく、参考にできると感じた。
- ・ 福島先生のお話は、何度か伺っていますが、ゆっくりじっくり丁寧にご自身の実践や聴覚障害児教育において大切にしたいポイントを伝えていただきました。保護者の気持ちに寄り添い、きこえない子ども自身が自己肯定感を持てるような教育実践を行っていくためにも日頃の取り組みを見つめ直して周囲の先生方とも話し合いながら今後の取り組みを進めていきたい。
- ・ 5、6歳でことばが出なかったのに、ここまで難しいことばを獲得し、本当にすごいなあと思った。自分らしく生きること、のびのびと子どもらしく生きること、そのためには、自己肯定感を高めることの大切さを改めて考えさせられた。
- ・ 9歳の峠をこえるために、5歳の坂が大切なこと、そして、生活言語をどのようにレベルアップしていくのかについて、具体的に話があり、勉強になりました。
- ・ 「きこえない自分を好きになる」「子どものことばをよーく聞く」という言葉が印象に残りました。



○講座Ⅰ「聞き取り困難症・聴覚情報処理障害の臨床」

阪本 浩一先生（大阪公立大学大学院 耳鼻咽喉病態学 准教授）

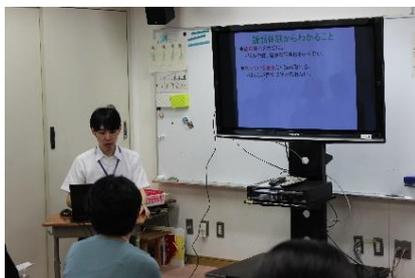
- ・APDについて、地域支援をする中で、相談に挙がってはきますが、診断等できないため、本人のきこえにくさへの支援ができないはがゆさを感じていましたが、本日の話をきいて、少し道筋が見えたような気がします。ありがとうございました。
- ・“APD”を最近聞くことが増えたのですが、詳しく知りませんでした。どんな聞き取り方をしているのかを知ることができ、イメージをもつこともできました。みんなが聞き取れるような工夫を考えていきたいと思えました。
- ・APDについて現在の状況を詳しく教えていただきました。軽中等度難聴の遺伝子検査も行われていることやAPDの診断について、当事者のことなど知らなかったことも多く大変参考になり学びにつながりました。聞こえの困難さ検出用チェックリストと集計結果や考察も今後の教育相談でも役立てていきたいです。
- ・難聴と直接関係のある内容もありましたが、イメージがつきにくく、少し難しい印象を受けました。ですが、大人の方に出やすい傾向があるとのことでしたが、小さな子どもも、もしかしたらそうかもしれないと頭に入れながら関わる必要があると思いました。
- ・講座を受けるまで、APDのことを知らなかったもので、すごく良い機会になりました。認知度が低いため、生きづらさを感じている人々が多くいるので、教員という立場で少しでも認知度を広げていけたらなと感じました。



令和5年 8月18日(金) 会場:大阪府立生野聴覚支援学校

○講座Ⅱ 【聞こえの仕組みと聴力測定】

- ・聴力測定について、実際に機会に触れることができ、わかりやすかったです。
- ・何度聞いても忘れてしまうきこえ



のしくみについて、もう一度確認したくて受けました。和歌山ろう学校の先生方の温かい雰囲気が居心地よく、また、内容もうまくまとめられていて勉強になりました。他校のオーディオメーターも触らせてもらえてよかったです。

【人工内耳の基礎】

- ・最近、人工内耳装用の子どもが増え、対応することも増えました。人工内耳の基礎、気をつけることを改めて考えたり、新しいことを学んだりできて良



かったです。中にうめ込むインプラントの実物を見れてさわられて本当に良かったです。

- ・人工内耳の生徒は、聞こえもいいし、普通に話せる生徒が多い印象だったが、22個の電極では鮮明な音は取れないということを初めて知った。言語聴覚士さんのお力や、本人の努力もあってのことなのだと知った。

【ことばのききとり評価】

- ・ことばの聞き取りについて、実施の意義やケースから得られる事柄について、分かりやすく学ぶことができました。
- ・実際行っている検査の目的や評価の仕方をゆっくりと聞き、考えることができて良かった。これからの子どもの見方に活かしていきたい。



【ICT活用とVR】

- ・自分で作るのは難しいですが、話をきくことで、とても勉強になりました。自校で試せることは試していきたいと思っています。
- ・VR体験良かったです。聞こえにくい様子がとてもリアルに体験できました。



【乳幼児の教育相談】



・こばと・豊岡での乳幼児教育相談の実践内容を詳しく伺うことができ良かったです。本校でも取り入れたい内容もあり、大変参考になりました。具体的な保育の様子もVTRや写真で提示してくださったので分かりやすかったです。質問にも答えていただき、本校の様子も伝えることができ、情報交換の時間も大変ありがたかったです。

【難聴学級での取り組み】

- ・地域支援に携わっているの、地域の小中学校での取り組みには興味があった。具体的に例を挙げていただいたり、映像を見せていただいたりして、楽しく学習できた。
- ・3人の先生方の実践をお聞きすることができ、これからの実践にいかしていきたい、と思うことが沢山伺えました。

【クイズ第2回ろう教育検定!】

- ・分からない内容もたくさんありましたが、聴覚に関する基礎知識や歴史について改めて勉強できました。知識不足な部分に反省もしました。もっと勉強します。
- ・クイズを解きながら知識を身につけていく演習方式のような講座で、受け身にならず勉強することができた。

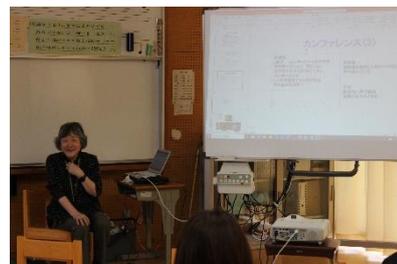


○講座Ⅲ 【聞こえのしくみと聴力測定】

- ・難聴の人の聞こえを体験できて、自分の声の大きさや高さをもっと意識しなければならなかったと思いました。聴力測定もできてとてもよい経験ができました。
- ・難聴体験、いろんな体験をさせてもらい勉強になりました。居住地校交流で難聴について説明することがあるので実践してみたいと思いました。

【人工内耳の応用】

- ・事例についての意見交換や先生の意見を聞くことができ、ありがたかったです。時間が足りなかったのかもしれないのですが、人工内耳の応用の講義も、もう少し受けたかったです。木村先生が参加者の話を丁寧に引き出してくださり、色々な事例について考えることができました。



【中・高 自立活動】

- ・教材の紹介がよかったです。参考にしたいです。
- ・他校の先生方といろいろ情報交換でき、よかったです。自立活動のプログラムや手引き書は参考になりました。
- ・自立活動の具体的な内容を知れた。障害認識は本当に大切で、社会に出て自分のことをどのように伝えるかによって働きやすさが変わるだろうなと思いました。短い



時間でしたが、他の聾学校の教員の方と話できて今後も聞こえない子どもたちのために楽しくやっていると思えました。

【補聴器の仕組みと機能】

- ・実際に体験ができ説明も丁寧に頂いたので、使い方の工夫や聞こえの様子がよく分かり参考になりました。

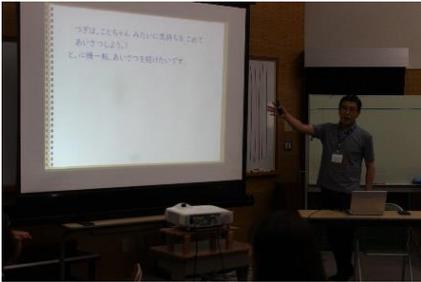


【補聴援助システム】

・ロジャー以外の機材を実際に体験することができ、改めてメリットとデメリットを知ることができた。新たに出てくる補聴援助システムを知って子どもにとって何がよりベターなのかを考えていきたい。

【難聴学級での指導】

・実際の教材を提示しながら丁寧にお話していただき参考になりました。



・子どもたちの語いをどう伸ばしていく、どう広げていくか悩むことでしたが、楽しく興味をもたせること、それを確認する

(検査)ことの大切さを改めて感じました。また、自分の聞こえにくさを理解し、他者に伝えるために意識した関わりをもつことの大切さも痛感しました。

・聾学校(聴覚支援学校)でも作文指導は行っているが地域ではどうなのか、詳しく知ることができた。

【聴覚生理】

・専門用語が多く、とても難しい内容でしたが、とても興味のある内容でした。実際の検査の様子を見ることができて良かったです。クラスの子どもに遺伝子検査をした子がいるので、もっと詳しくききたいと思いました。

・遺伝子的に、聴覚障がいが出るメカニズムが判明していること、また、乳児期にどのような方法で検査を行っているのかを知ることができた。



☆貴重なご意見をたくさんいただきました。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

今後の予定

9月下旬 秋の講演会案内発送、機関紙83号発行

10月28日(土) 秋の講演会(大阪府社会福祉会館)

11月4日(土)～12日(日)後日オンデマンド配信

講師 平島 ユイ子 先生(国際医療福祉大学 教授)
テーマ『難聴児の言語・コミュニケーション指導』

12月上旬 冬の学習会案内発送、機関紙84号発行

(令和6年)

1月26日(金) 第3回代表委員会(和歌山県立和歌山ろう学校)

1月27日(土) 冬の学習会(和歌山市南コミュニティセンター)

講師 樋口 恵子 先生(徳島県立徳島聴覚支援学校)
テーマ『未定』
講師 島田 亜紀 先生(せきね耳鼻咽喉科医院)
テーマ『未定』

3月下旬 集録第24号発行、機関紙85号発行

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

〒540-0005

大阪府大阪市中央区上町1丁目19番31号

大阪府立中央聴覚支援学校内

TEL:06-6761-1419

FAX:06-6762-1800

メール:kinkieaa@gmail.com